

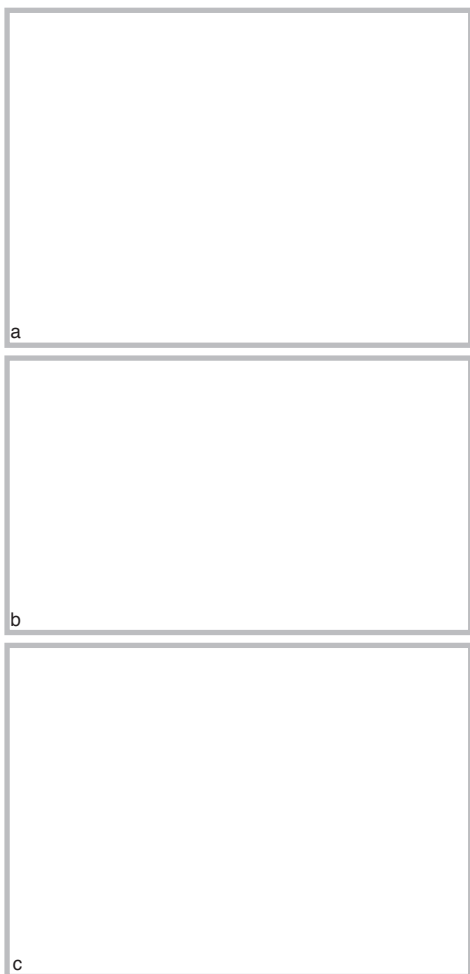
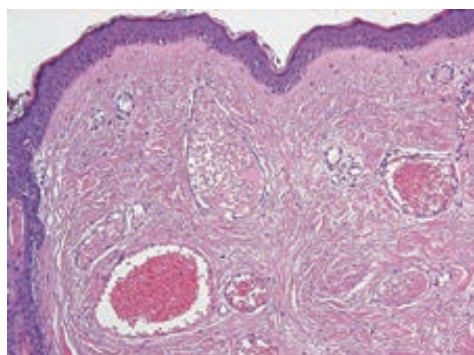


図 21.47② 毛細血管奇形 (capillary malformation)

図 21.48 毛細血管奇形の病理組織像
真皮血管の拡張，赤血球の充満像を認める．表面が赤くみえる理由である．

ものを正中母斑ないしサーモンパッチ (salmon patch) といい，新生児の 20～30% でみられる (図 21.47② c)．額部や眼瞼部に好発し，顔面に生じたものは 2 歳頃までに大部分が自然消退するが，項部に生じたもの [Unna 母斑 (nevus Unna)] は消退しにくい．

病因・病理所見

真皮浅層で成熟した毛細血管の拡張を認める (図 21.48, 21.38)．

治療

色素レーザー療法が第一選択であり早期の治療が望ましい．サーモンパッチは経過観察．そのほか，カバーメイクアップが用いられる．

2. 静脈奇形 venous malformation ★

同義語：海綿状血管腫 (cavernous hemangioma)

Essence

- 奇形性静脈が皮膚深層で増生．
- 幼児期に発症し，軟らかい皮下腫瘤を形成．正常皮膚色が淡紫赤色を呈する．

症状

成熟した奇形性小血管 (主に静脈) が皮膚深層に生じる (図 21.49, 21.38 参照)．出生時から奇形は存在するが，臨床的に幼児期に気づかれることが多い．柔軟な皮下腫瘍として認められる．色調は正常色～淡青色～赤紫色であり，表面に小紅斑が散在することがある．圧痛はなく，自然消退しない．通常単発性であるが，多発した場合は青色ゴムまり様母斑症候群や Maffucci 症候群など神経皮膚症候群の可能性があり (20 章参照)．

治療

小型のものは外科的切除，腫瘍内凝固 (硬化療法) も行われる．放射線療法は無効である．

3. 静脈湖 venous lake

主に高齢者の顔面や口唇部，耳介に生じる，軽度に隆起した濃青色の小結節 (図 21.50)．病理組織学的には血管拡張が主体．